

## ■基調報告者



郝時遠 (HAO Shiyuan)

中国社会科学院民族学・人類学研究所所長・研究員

内モンゴル大学モンゴル史研究所修士課程修了。歴史学修士。『民族研究』、『世界民族』誌総編集長。現在、全国哲学社会科学民族研究学科企画グループ副責任者、中国民族学会会長、中国世界民族学会執行会長。主な研究分野は民族論、主な著書に『海外華人研究論集』（共著、中国社会科学出版社、2002）、『帝国覇権與バル幹「火薬桶」』（社会科学文献出版社、1999）、『中国的民族與民族問題』（江西人民出版社、1996）などがある。

## ■パネリスト



末成道男 (SUENARI Michio)

東洋大学社会学部教授

東京大学教養学科卒業。東京大学文学修士，社会学博士。聖心女子大学教授，東京大学東洋文化研究所教授を経て現職。主な研究分野は，日本，中国大陸，台湾，韓国，ベトナムの社会人類学的現地調査に基づく，社会組織と宗教の比較。主な著書に、『台湾アミ族の社会組織と変化』（東京大学出版会，1983），『中国文化人類学文献解題』（東京大学出版会，1995），『ベトナムの祖先祭祀——潮曲の社会生活』（風響社，1998）などがある。



横山廣子 (YOKOYAMA Hiroko)

国立民族学博物館民族社会研究部助教授

東京大学大学院社会学研究科修了（社会学修士）。東京大学教養学部助手，東洋英和女学院短期大学専任講師，助教授を経て，1994年より国立民族学博物館助教授ならびに総合研究大学院大学助教授。主な研究分野は文化人類学（中国西南部・東南アジア大陸部諸民族の社会・文化研究）。主な編著書に『少数民族の文化と社会の動態——東アジアからの視点』（国立民族学博物館調査報告50，2004），『中国における民族文化の動態と国家をめぐる人類学的研究』（国立民族学博物館調査報告20，2001），著書に『流動する民族中国——南部の移住とエスニシティ』（共著，平凡社，2001）などがある。



邢莉 (XING Li)

中央民族大学文学与传播学院教授

首都師範大学中文系卒。主な研究分野は民俗学。主な著書に『遊牧文化』、『草原文化』、『遊牧習俗』、『観音：神聖與世俗』などがある。



吳天泰 (WU Tien-tai)

国立東華大学族群關係与文化所教授所長・同大学民族与文化系主任教授

1990年オハイオ州立大学大学院人類学博士課程修了。人類学博士。1991年国立花蓮師範社会科教育系副教授，1995年国立東華大学副教授を経て現職。主な研究分野は人類学，原住民教育，ジェンダーと文化。主な著書に、『原住民教育概論』（五南，1998），『原住民人權訪查研究——婦女人權』（中国人權協會，1999），『教育人類学』（共著，五南，2002）などがある。



祁慶富 (QI Qingfu)

中央民族大学中国少数民族研究センター長・教授

北京大学東方語言系朝鮮語専攻卒，中央民族大学修士課程修了。歴史学修士。中国民族学会副会長。主な研究分野は民族学，民族史，中韓文化交流史。主な著書に『中国民族学五十年』（共著，人民出版社，2004），『中国民族概論』（共著，中央民族大学出版社，2001），『中国少数民族吉祥物』（四川民族出版社，1999），『中国少数民族文化通論』（中央民族大学出版社，1995）などがある。



劉新 (LIU Xin)

カリフォルニア大学バークレー校人類学部准教授，愛知大学 COE 訪問教授

中国人民大学大学院応用統計学専攻修士課程修了，ロンドン大学 SOAS 人類学専攻博士課程修了，Ph.D. (人類学)。1995年からカリフォルニア大学バークレー校准教授。2004年9月から愛知大学 COE 訪問教授を兼任。主な研究分野は(東)アジア及び中国に関する現代世界の生活状況研究。主な著書に *New Reflections on Anthropological Studies of (greater) China* (China Research Monograph (58), the Institute of East Asian Studies, University of California at Berkeley, 2004. ed.), *The Otherness of Self: A Genealogy of Self in Contemporary China* (University of Michigan Press, 2002); *In One's Own Shadow: An Ethnographic Account of the Condition of Post-Reform Rural China* (University of California Press, 2000) などがある。



松岡正子 (MATSUOKA Masako)

愛知大学現代中国学部教授

早稲田大学大学院文学研究科後期課程単位取得退学。1991年より国立民族学博物館共同研究員，1997年愛知大学現代中国学部助教授，2002年より現職。2004年早稲田大学より博士(文学)学位取得。主な研究分野は中国民俗学，中国文化人類学。主な著書に『中国青藏高原東部の少数民族——チャン族と四川チベット族』（ゆまに書房，2000），『中国少数民族事典』（共著，東京堂出版，2001），『中国語で学ぶ中国民間文化』（共著，ゆまに書房，2002）がある。



鈴木規夫 (SUZUKI Norio)

愛知大学国際コミュニケーション学部教授 [国際中国学研究センター委員]

上智大学文学部卒，中央大学大学院法学政治学研究科修士課程修了(法学修士)，成蹊大学大学院法学政治学研究科博士課程後期単位取得修了。博士(政治学)。日本学術振興会特別研究員，長野県短期大学助教授，ロンドン大学バークベック・コレッジ客員研究員，愛知大学国際コミュニケーション学部助教授を経て，2002年4月より現職。主な研究分野は政治哲学，国際政治学，イスラーム研究。主な著書に『日本人にとってイスラームとは何か』（ちくま新書，1998），『地球的平和の公共哲学——「反テロ」世界戦争に抗して』（共著，東京大学出版会，2003），『いま平和とは何か』（共著，法律文化社，2004）などがある。



高明潔 (GAO Mingjie)

愛知大学現代中国学部助教授 [国際中国学研究センター委員]

中央民族大学歴史科卒。中央民族大学民族研究所助手・講師，東京大学教養学部文化人類研究室・東京大学東洋文化研究所汎アジア部門客員研究員・日本民族学振興会特別研究員を経て，1997年現代中国学部専任講師，2001年から現職。中央民族大学中国少数民族研究センター客員教授を兼任。主な研究分野は文化人類学。主な著書に『北京的少数民族』（共著，北京燕山出版社，1988），『最新教科書 現代中国』（共著，柏書房，1998），『中国21』Vol.19「特集 内モンゴルはいま——民族区域自治の素顔」（主編著，風媒社，2004）などがある。

## ■コメンテーター



加々美光行 (KAGAMI Mitsuyuki)

愛知大学国際中国学研究センター所長・現代中国学部教授 [国際中国学研究センターCOE 拠点リーダー]

東京大学文学部卒。アジア経済研究所主任研究員，愛知大学法学部教授を経て，1997年より現代中国学部教授。2002年10月，文部科学省「21世紀COEプログラム」採択に伴いCOE拠点リーダー・国際中国学研究センター所長。この間，現代中国学部長，大学院中国研究科長などを歴任。主な研究分野は現代中国政治，中国政治思想。主な著書に『逆説としての中国——反近代化精神の敗北』（田畑書店，1986），『知られざる祈り——中国の民族問題』（新評論，1992），『歴史の中の文化大革命』（岩波現代文庫，2001）などがある。

## ■コーディネーター



周 星 (ZHOU Xing)

愛知大学国際コミュニケーション学部教授 [国際中国学研究センター委員]

1982年西北大学歴史学部卒。1989年中国社会科学院大学院修了。民族学博士。北京大学社会学人類学研究所副教授，教授を経て，2000年より現職。主な研究分野は中国民族学と民俗学。主な著書に『民族学新論』（陝西人民出版社，1992），『民族政治学』（中国社会科学出版社，1993），『境界與象徴：橋和民俗』（上海文芸出版社，1998）など，主な訳書に『漢族的民俗宗教——社会人類学的研究』（天津人民出版社，1998）などがある。